

学区ぐるみで取り組む防災・防犯活動



【五反田学区】

■世帯数：3,195 世帯

■人 □：8,353 人

■面積：1.283 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

安心・安全で快適なまちづくりのために、学区ぐるみで防災・防犯活動に取り組んでいる。年間の延べ参加者数は約 2,200 人。

① 防犯への取組

- ・生活安全委員会による毎週 1 回の青パト学区内パトロール。
- ・少年補導員による毎月 3 回の学区内パトロール。
- ・全町内会による毎月 1 回の町内巡回パトロール。
- ・防犯灯の増加による明るいまちづくり。

② 防災への取組

- ・五反田小学校校庭と南川田公園において防災訓練の実施。
- ・防災訓練では、簡易担架の作成と運搬、てんぷら油火災の消火、バケツリレー、消火器の取扱い訓練のほか、炊き出し訓練も実施する。消防団と災害対策委員による自主防災会を対象とした防災リーダー研修、災害対策委員、自主防災会会長との意見交換会を行っている。防災リーダー研修に参加した人が指導者となって防災訓練を行う。



【住民への PR 方法】

チラシの回覧、学区新聞「ふれあい」

【アピールポイント】

「安心・安全・快適なまちづくり」への後継者の育成。
地域住民間の絆を再構築しよう。

2 きっかけ、背景

昭和 57 年 5 月に学区が発足し、生活安全委員会が結成され、2 年後に消防団が結成された。消防団が発足してまもなく、学区内に不審火による火災が続発したため、学区区政協力委員会・生活安全委員会・消防団など学区連絡協議会が一丸となって、連夜警戒警備に当たった。その結果、安心して暮らせる平和な生活を取り戻すことができた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員、防災ボランティア（自主防災会）

計約 38 人（うち消防署員 1 人）

(2) 他団体との協力

名古屋市立富田高校ブラスバンド部が防災訓練に参加

(3) 運営協力

- ① 組長を中心に編成した町内巡回パトロール
- ② 防災リーダー研修（災害対策委員と自主防災会長を対象に、消防署の指導によるプログラムでの想定訓練）
- ③ 各町内の自主防災会（消火班、救出救護班、給食給水班）による実地訓練

5 成果と課題

(1) 成果・効果

新しく組長になった人の参加を促す内容であり、住民間の交流が始まり、輪が広がり深まっていくという相乗効果が出てきている。

(2) 苦労した点

参加者の確保と住民の理解を得るために、広報紙の発行や定例会の開催、学区行事への参加依頼文書を役員に送付するなど住民への周知方法を工夫している。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代、活動資金の確保が課題。新旧学区住民の共通したシンボリックな行事を通して「協力」から「団結」、さらに学区としての「地域力」を高めていきたい。

(4) メッセージ・アドバイス

見学中心でなく、体験型の訓練の実施により、災害の恐ろしさを身体で学ぶようにすることが大切である。また、参加者が夢中になって取り組めるゲームを用意し、町内住民の協力する心、団結力を競わせることで防災訓練への参加意欲を沸き立たせている。

4 実施のスケジュール

【防犯】
3月 定例会にて次年度年間行事として提案



4月 定例会にて具体的実施計画を提案と昨年度の実施報告を行う

【防災】
3月 定例会にて次年度年間行事として提案



6月 消防署員からの指導・助言



10月 自主防災（給食給水班）の炊き出し訓練
防災リーダー研修



11月 防災訓練（本番）